

狛江市アクションプラン 定員適正化計画―組 織の見直しについて

問 ①来年4月1日よりスタートする新組織において、各部門の担当業務やフラット化を図る部門・部署は確定しているか。②また、正式な組織構成案はいつごろにできるのか。

答 ①各部門の担当業務は、現在職員団体と協議中。スタッフ制は具体的な提案に至っていない。②現在は職員団体との協議に取り組んでいるところ。

亀井和美

高齢者対策 特に孤独死について

問 最近マスコミ等で報道されている「高齢者の孤独死」。本年、狛江で4人の方が孤独死で亡くなっている。高齢者の方が、いつまでも元気で長生きできるように、孤独死をなくすため独り暮らしの高齢者に対する対策と取り組みを。

答 現在の制度の充実と地域力による見守りを検討、孤独死を防ぐシステム等を研究していく。

安心・安全対策 保育 園の環境整備と青色防 犯灯の設置について

問 ①余りにも酷い公設公営保育園の現状を踏まえ、園児の生命を守るために、一日も早い耐震診断の実施を。②犯罪が後を絶たない現状を踏まえ市民が安心して暮らせるよう、犯罪抑止効果のある青色防犯灯

の設置を強く要望したいが。

答 ①優先度の高い学校の耐震工事完了後、保育園を含めた公共施設の優先順位を決めながら診断を実施していきたい。②各地の実事例を踏まえ、研究課題としたい。

市民サービスについて

問 毎日、多くの市民が足を運ぶ、市の顔である市役所。市としてのどのような視点に立って、市民サービスを考え、取り組んでいるのか。

答 執務の方針として、市民に親切でよい相談相手であること、仕事に創意工夫と熱意で当たること、常に健康第一で明朗であることを念頭に努力している。

佐々木 貴史

安全・安心な まちづくりについて

問 ①小さな子どもたちを危険から回避するための「危機回避ガイド」の作成、配布HPへの掲載を。②市内に配備されている街頭消火器の点検、整備を。③心臓震盪による児童生徒の事故が報じられている。小・中学校にAEDの配備を。

答 ①都作成のリーフレットを活用、配布をしている。都の了解を得てHP掲載を検討していく。②点検をして必要な補充・修理をしたい。③AEDの必要性は十分認識。設置は財政状況を見据えた上で、財政当局と調整を図っていききたい。

多摩川の環境整備に ついて

問 ①和泉多摩川駅近くの河川敷では一年中、特に夏の時期にはバーベキュー客があとを絶たないが、近所の皆様は臭い、騒音、ゴミ等で大変な被害を受けている。早急に問題の解決を。②多摩川土手をだれもが利用できるように舗装整備を。

答 ①関係者間で引き続き協議していく。②京浜河川事務所と協議し、転圧小砂利舗装について、実証実験を要請していく。

人材育成・人材確保・ 人材活用について

問 ①定員適正化計画で市職員の削減がなされているが、途中退職により計画よりも減っている現状について、狛江市政に魅力がないからではないか。②職員昇給試験の受験率が低い中、今後の人材育成、確保への具体的な取り組みを。

答 ①職員の考え方は千差万別でつかみ切れないのが現状。②新狛江市人材育成基本方針に目指すべき職員像を具体的に掲げ、人材育成に取り組んでいく。

道下 勇

市長が招いた財政破綻 からの再建策について

問 ①緊急行動計画の3年間は人件費削減の内部努力が31%、有料化など市民への負担が39%だが、市の分析は。②保育園の次世代育成支援行動計

画の21年度目標実現は可能か。③公的資金の繰り上げ償還のその後の状況について。

答 ①17年第1回定例会の答弁と基本的には大きな変化はない。②次世代育成支援行動計画に沿って実現していく。③全額繰り上げ償還・借換えであれば、普通会計で約1100万円、公共下水道特別会計で約3900万円の効果とみている。

住宅対策について

問 ①狛江市住宅マスタープランは策定から5年間経過したが取り組みの分析は。②市内には都営住宅や都民住宅など公営住宅がさまざまあるが、申し込みの方法・資格など、住宅係での情報提供の市民サービス充実ができないか要望するが。

答 ①民間住宅への入居支援、木造住宅の耐震診断費用の助成、分譲マンション管理組合への運営支援、高齢者、障がい者などに配慮した住宅の改修などを実施している。②情報等が市に提供されないことから難しいと考える。

正木 きよし

「子ども議会」 (8月19日)の一般質問 に対する市の対応

問 身近な問題、生活に直結する問題を取り上げ46問について質問をしていた。傍聴について、市長、教育長の答弁が抽象的で、もう少し具体的に答弁してもよかったのではないか。措置状況について知らせるべきと思うが。

答 学校等を通じて知らせていくなど、質問のその後の対応について、子どもたちにもわかる機会をつくっていく考え。

指定金融機関の 市民不在の 対応について

問 ①指定金融機関とは、地方自治法の裏付けによって成り立っている以上、趣旨にそった対応をすべきではないか。②市と契約書を交わしているのそのとおり運営をすべき。③ATM機の開庁時間までの時間延長について。

答 ①そのように考える。②契約に沿って実施している。③指定金融機関への申し入れについて検討する。

中学校給食の 早期実施について

問 前議会以降の進捗状況を具体的に説明を。

答 7月26日に狛江市中学校給食調理業務委託業者選定審査会による選定審査会を実施。業者を選定。又狛江市中学校給食実施案検討委員会を設置。9月末を目途に、具体的方向性について素案をまとめるよう議論を重ねている。

河西 かず

行財政改革の 現状について

問 ①平成16年作成の「緊急行動計画」の現在の当初計画との差異は②事業の見直しは毎年の予算に生かされているのか③18年度の徴収率は④19年

度の交付税が前年より少ない理由は⑤職員数の1/4が保育園関係だが、見直しがおそいのではないか。

答 ①18年からアクションプランとして取り組む②緊急行動計画の概要を基本とし予算計上③市税は94.0%。対前年度比1.5%増④法人税割に特殊要因があったため⑤22年4月1日の職員数を定め、労使間で一定の確認がされた。

地震等災害時対策に ついて

問 ①災害対策費は幾ら用意されているのか②川口町に支援した物資の補充は③「地区自主防災マップ」は更新されているのか④震災時の子供たちの安全な下校対策・訓練はなされているのか⑤備蓄庫の鍵の管理及び備蓄の配布方法は。

答 ①国の補助や起債対象外(残高約2億9000万円)を充てる②簡易トイレは58台支援し、現在102台購入済③今後検討④避難訓練、引渡し訓練及び集団下校訓練を実施⑤避難所運営マニュアルを作成予定。

市原 広子

「狛江駅と駅周辺の 諸課題・まちづくり」

問 ①掃除ができない駅前前の噴水、野外ステージなど転用検討を②狛江駅へ券売機増と電動車が③駅前三角地、近隣の地区計画誘導は。暫定使用中だが、もっと緑陰と活用を④ふえた集中豪雨対策のマニュアル化を。

答 ①将来的なあり方について、関係部署と協議していく②小田急電鉄に話をしてみる。利用者側から要望も必要③「緑の三角ひろば」の活用を管理者と協議していく④必要があると感じている。8月28日の災害を踏まえて総括したい。

生活保護受給者の人権 と職員の専門性。同居 家族のいる高齢者支援

問 ①医療扶助、重大疾患はセカンドオピニオンを。②専門職採用と現在の職員の専門性は。職員が同じ職場に長くいることは。③チェック体制はオンブズマン制度で。④介護から外された生活支援に国・都補助制度を。

答 ①アドバイスする程度にとどめている。②現在有資格者は1人で、今後6人を採用予定。異動は通常4から5年だが、専門的な知識・経験を求められる職場は長いこともある。③今後の研究課題とする。④今後調査していきたい。

吉野 芳子

地球環境を守る石けん 使用の積極的な推進に ついて

問 ①公共施設での石けん使用について6月議会で質問したが、その検討の成果を。②石けんの周知と徹底のため狛江市で「石けん使用指針」をつくる考えはあるのか。

答 ①各地域センターに再度協力依頼。石けん未使用の小・中学校は、在庫がなくなくなり次第石けんに切りかえる。保育園は使用していない。学童保